

# 多世代でつなぐ海の道 ビーチクリーン

---

## 実施報告書

2020年11月18日

## ○活動要旨

昨年までの学生分科会は九州・中国地方の学生が一堂に宗像に集まり、発表やディスカッションを行う形であったが、今年はコロナウイルスにより、大人数が室内で対面を通じて交流することが難しくなった。しかしながら、沿岸部の過疎地や離島などでは、年々高齢化が進んでおり、またその地域に漂着ゴミが集中しているのもまた事実である。

そこで、この問題を全国の多世代で共有し、またこのコロナ禍で全国の人々とオンラインで容易に繋がる事が出来るようになったため、今回の企画に至った。

## ○実施概要

- 名称： 「多世代でつなぐ海の道ビーチクリーン」
- 開催日程： 2020年10月17日（土）9：00～12：00
- 開催場所： 全国各地（本会場 福岡県宗像市大島 宗像大社沖津宮遙拝所海岸）
- 実施内容： ①ビーチクリーン  
②拾ったゴミで、その地名のアートを描くゴミアート作成  
③漂着ゴミデータ収集
- 共催： 学生の会の名前、九州大学大学院工学研究院環境社会部門生体工学研究室  
BC-ROBOP 海岸工学会、宗像国際環境会議、宗像市
- 実績： 来場者数 本会場 約40名 その他全国各地 20名

## ○会場説明

本会場：宗像大社沖津宮遙拝所海岸



住所： 福岡県宗像市大島1293

アクセス： 大島港からバスで約10分 徒歩の場合30分

## ○実施実績

(2020年10月17日 宗像大社沖津宮遙拝所海岸)

参加者所属 (本会場)	参加人数 (名)
福岡教育大学	5
九州大学	4
北九州市立大学	1
熊本大学	1
宗像高校	6
東海大学附属福岡高校	2
日本アジア教育センター	9
合計	28

(2020年10月17日 全国各地の会場)

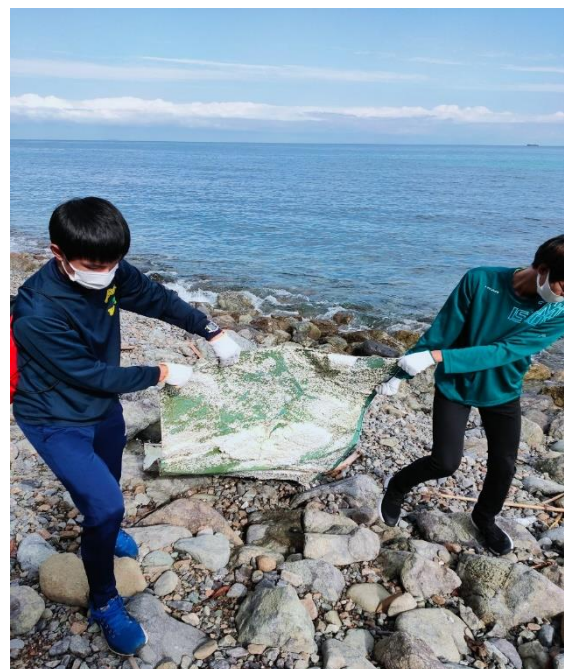
会場地域	参加人数 (名)
長崎県五島市香珠子会場	5
福岡県北九州市岩屋海岸会場	1
福岡県波津海岸会場	6
山口県下関市綾羅木海岸会場	3
合計	15

(2020年10月17日以外に参加していただいた全国各地の会場)

都道府県名	会場名
福岡県	古賀会場
	奈多会場
	勝浦海岸会場
	箱島会場
鹿児島県	鹿児島市会場
大分県	大分港会場
宮崎県	青島会場
愛知県	知多会場
宮城県	気仙沼会場
北海道	室蘭市イタンキ海岸会場
長崎県	五島市高崎海岸会場



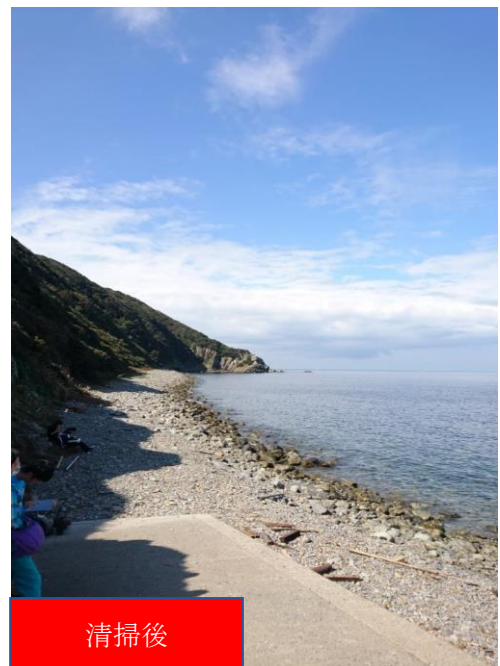
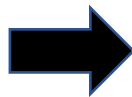
○当日のビーチクリーンの様子（本会場：沖津宮遙拝所海岸）







清掃前



清掃後



○全国各地のアートの様子

	会場名	実績（回収袋数）
	<p>長崎県五島市香 珠子会場</p>	<p>6袋</p>
	<p>長崎県五島市高 崎会場</p>	<p>20袋</p>
	<p>福岡県波津会場</p>	<p>17袋</p>



福岡県奈多会場

8袋



北九州市若松会場

55袋



福岡県岩屋会場

2袋



	<p>北海道イタンキ 会場</p>	<p>140袋</p>
	<p>愛知県知多会場</p>	<p>1袋</p>
	<p>福岡県宗像大島 会場</p>	<p>55袋</p>



## ○当日のビーチクリーンの参加者の声

・ゴミアートの企画、非常に楽しかったです。色々な方と繋がれて、とても楽しかったです。ゴミ拾いという1つのきっかけから地球環境にも関心を持ち、人とのつながりが出来ていくことが素晴らしいと思っています。人を巻き込んで拡散していくことが一番大変でもありながら、とてもパワーをもらえるものでもあり、大切なことだと思います。(福浜海岸)

・こんなにも多いゴミ、ビーチクリーンでは途方もないようにも思えますが、一緒に頑張る同志がいることで活動できています！(波津海岸会場)

・この問題は深刻な問題です。だからこそ、どのようにしたら楽しく継続的にこの活動が出来ていくかだったり、拾うだけではなくどのようにしたらこれが資源に変わっていくかを考えていくことが大事だと思います。(高崎海岸会場)

・発泡スチロールが細かく散らばっていた。お菓子のゴミや生活用品も多く、ポイ捨てをしている人が多いと感じた。(大分港会場)

・観光地「青島」島の裏に漂着ゴミがあったのを発見しました。中国と日本のペットボトルが落ちていました。プラスチックごみがやはり多く感じました。(宮崎県青島会場)

## ○全国のビーチクリーンのデータ収集

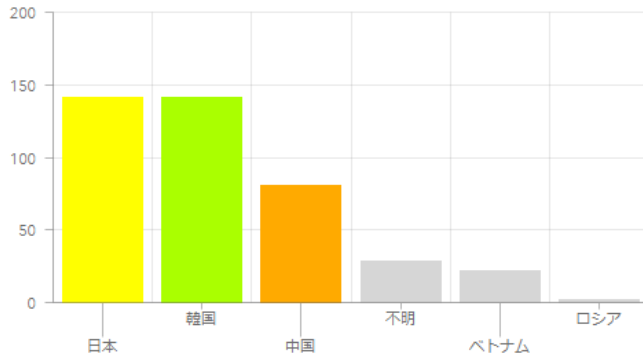
今回、日本博「新宿る島」国際文化芸術プロジェクトの活動の一環として、全国の個人・団体が行っているビーチクリーンのデータを収集しているおり、2020年10月17日の「多世代でつなぐ海の道ビーチクリーン」からデータ収集用のサイトを立ち上げ、現在に至るまでSNSなどで広報を行い、全国のデータを収集している。

(データ項目)

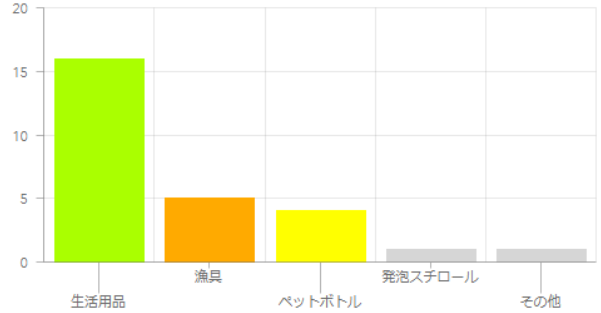
- ・団体名・個人名
- ・カテゴリ(調査 or 活動)
- ・調査日時
- ・活動地域(都道府県)
- ・1番目に多いごみ(缶ビン、ペットボトル、漁具、家具、生活用品、発泡スチロール、その他)
- ・2番目に多いごみ(上記に同じ)
- ・ごみの総量(何袋)
- ・漂着ペットボトルの生産国とその本数
- ・活動場所
- ・今回の活動・調査を行って感じた感想

## 〇活動実績（2020年10月17日～）

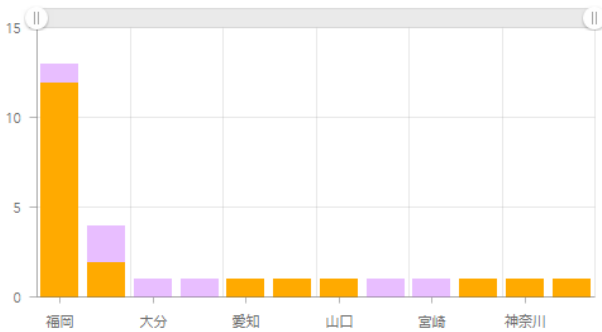
国別 漂着ペットボトルの本数



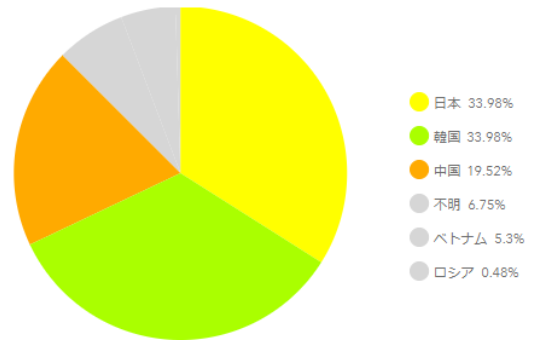
一番目に多いごみの種類



活動調査回数



漂着ペットボトル 国別割合



漂着ごみからみる海の道

ごみの総量

# 422 袋

最新更新: 1分前

活動調査回数

一番目に多いごみの種類

漂着ペットボトルの総数

# 323 本

最新更新: 1分前

国別漂着ペットボトルの本数

漂着ペットボトル 国別割合